

# 日 誌 (昭和38年11月)

## 【国 内】

- 1日 ○本行、新様式の千円券を発行
- 9日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を  
引上げ(要録参照)
- 11日 ○IMF対日年次協議開始(22日終了)

## 【海 外】

- 1日 ○南ベトナム、クーデター発生
- 5日 ○国際流動性問題に関するIMF10か国蔵相会議  
代理者会議、パリにて開催  
○米連邦準備制度理事会、株式証拠金率を50%か  
ら70%に引き上げる旨発表(6日から実施)  
○EEC委員会、穀物統一価格に関する提案を理  
事会に提出  
○イタリア、レオーネ内閣総辞職
- 11日 ○カンボジア、貿易ならびに銀行業務の国有化を  
発表
- 12日 ○イタリア、物価騰貴に対する抗議スト実施(ロ  
ーマおよび周辺地区)  
○中共、中国農業銀行を設立
- 13日 ○デンマーク、公定歩合を6%から5.5%へ引下  
げ
- 14日 ○フランス、公定歩合引上げ(3.5%から4%へ)  
を中心とする一連の物価対策を発表
- 15日 ○イリブ・アルゼンチン大統領、外国石油会社と  
の石油採掘契約の無効を宣言  
○コメコン、国際経済協力銀行総裁にコンスタン  
チン・ナザルキン氏を任命
- 17日 ○中共、第2期全国人民代表大会第4回会議を開  
催(会期12月3日まで)
- 19日 ○OECD閣僚理事会、パリにて開催(20日まで)
- 21日 ○GATT特別委員会、EEC課徴金引上げによ  
る米国産チキンの輸出減少額を260万ドルと算  
定

- 20日 ○貿易外取引の一部自由化(前月号要録参照)
- 21日 ○総選挙実施
- 29日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を  
引下げ(要録参照)
- 22日 ○ケネディ第35代米大統領、ダラスにて暗殺さる  
○リンドン・B・ジョンソン米副大統領、第36代  
米大統領に就任  
○為替市場を除く米国内の全株式、商品取引所、  
立会いを中止  
○イタリア、工業設備の減価償却率の引上げを決  
定(1率20%)
- 24日 ○故ケネディ米大統領の葬儀、ワシントンにて挙  
行。為替・株式など全取引所休場  
○イタリア、国営石油会社ENI一ツ連と長期貿  
易協定を締結
- 26日 ○米連邦準備制度、1ドル連邦準備券を発行  
○ジョンソン米大統領、国債発行限度を12月1  
日から明年6月末まで現行の3,090億ドルから  
3,150億ドルへ引き上げる法案に署名  
○イタリア、中道左派新内閣の4党(キリスト教  
民主党、社会党、社会民主党、共和党)による  
政策協定成立  
○韓国、国会議員選挙実施
- 27日 ○ジョンソン米大統領、上下両院合同会議におい  
て当面の政策に関し初演説  
○米国の対ソ小麦輸出に関する交渉、不成立のま  
まソ連側交渉団帰国
- 29日 ○イタリア、対日貿易交渉妥結(輸入枠の増大を  
決定)
- 30日 ○豪州、ニュージーランド総選挙実施